



日独青少年相互交流計画  
ご協賛のお願い  
公益財団法人ハーモニィセンター



# 交流を今後も継続するためにご協賛お願いいたします！

## <2024年から直接交流を再開します！>

1990年から実施している「日独青少年相互交流計画」は、コロナ禍でもオンラインで交流を絶やすことなく続け、2024年のドイツ団15名の来日(10/14～26)から直接交流を再開します！

本計画では、訪問先滞在中の経費(宿泊費・食費・移動費etc)を受入側が全て負担し、現状その多くは受入団体の持ち出しとなっています。

秋に来日するドイツ団に少しでも充実した日本での生活を過ごしてもらえるよう、そして今後も継続してこの事業を行えるようご協賛・ご支援頂ければと思います。



## <ご協賛について>

協賛金額:1口1万円～ 募集期間:令和6年10月26日(土)まで  
用途:プログラム費や受け入れ費用として活用させていただきます

ご協賛いただいた場合、一口につき種類の資料配布と団体機関紙報告欄に御社企業名を掲載させていただきます。

※ハーモニセンターへのご寄附は税制上の優遇措置を受けることができます。

# 日独青少年相互交流計画とは

1989年、旧文部省主催の「日独青少年指導者セミナー」でドイツ・シュタインフルト郡青少年局の青年職員ルドガー・フォンディック氏、通訳の本間純子氏、ハーモニセンター大野前理事長が出会い、意気投合。「国や国に準ずる機関によって用意された勉強会ではなく、地方同士の手作りの交流、お互いのふるさとの息づかいを直に感じられるような交流をしよう」と、日独青年の相互訪問事業を行うことを決定しました。

その後、ハーモニセンターと関わりのあったいくつかの市町村、個人にこの計画への参画を呼びかけたところ、宮城県玉造郡鳴子町（現大崎市）、岩手県和賀郡東和町（現花巻市／～2005年）が手を上げ、日本側は三者共催（事務局はハーモニセンター）でこの計画に取り組むこととなりました。

参加する若者たちが、お互いの国で本当にしたいことを追求することを大切に、2019年までの30年間に派遣15回（合計173名）、受入15回（合計207名）が行なわれ、ドイツでも、宮城、岩手、東京各地区でも老若男女、大勢の方に支えられながら大切に育てられている企画です。

新型コロナウイルス感染症の期間はオンラインでの交流を続け、2024年10月からお互いの国を行き来しての交流を再開します。

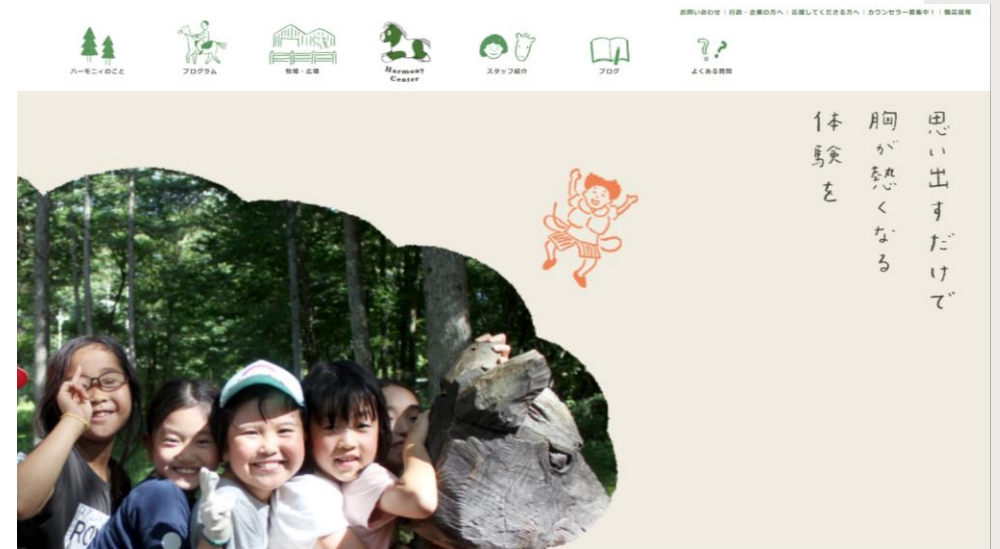
# 公益財団法人ハーモニィセンター概要

公益財団法人ハーモニィセンターは、1961年設立の社会教育団体です。

ポニー乗馬を取り入れたキャンプを実施するほか、国際交流事業、自治体の動物広場の運営などを行っています。(職員:65名 保有馬:95頭)

## 【事業内容】

- (1) キャンプ等体験活動の企画・運営
- (2) ポニー牧場の運営
- (3) 自治体からの動物広場等の運営受託
- (4) 教育・福祉・医療等の現場での乗馬活用の普及
- (5) 国際交流
- (6) 川べりの環境整備及び活用の推進
- (7) 社会教育に関するフォーラム・シンポジウムの開催

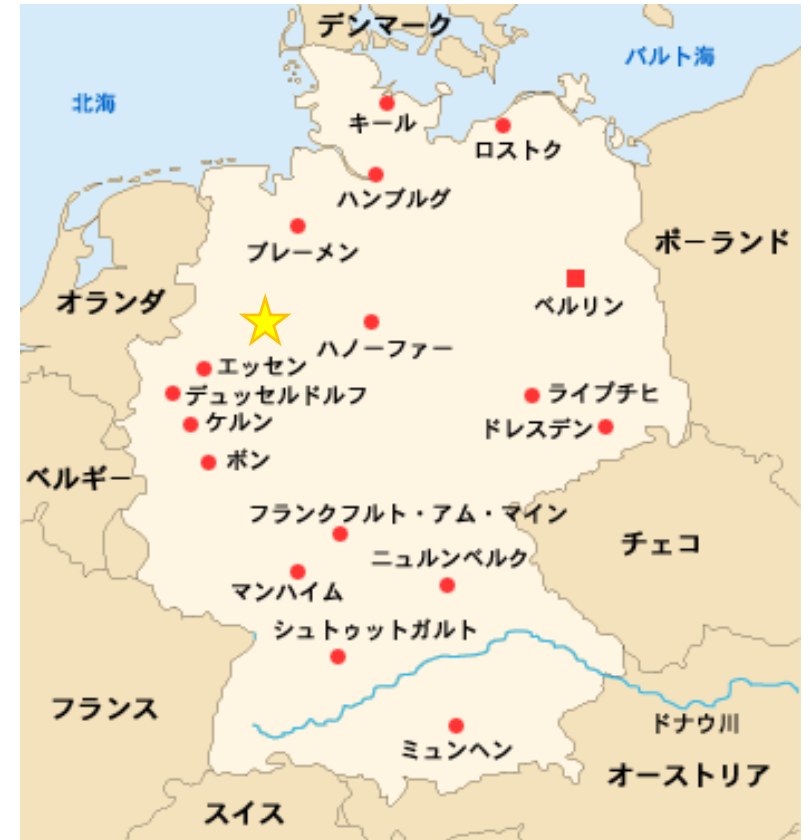


# ノルトライン＝ヴェストファーレン州とは シュタインフルト郡とは

ノルトライン・ヴェストファーレン州はドイツの16州の中で人口がもっとも多く、工業、商業の発達した地域です。日本人が多いことで知られる商業都市デュッセルドルフや世界地理の教科書でも馴染みの「ルール工業地帯」もこの州にあります。

シュタインフルト郡は州の中で2番目に広い郡で、10の都市と14の町村からなり、人口はおよそ38万人です。デュッセルドルフなどの都市部から離れた田園地帯で、大自然を満喫できる地域です。自然保護に対する意識はドイツの他の地域同様に高く、ハイキング、乗馬その他のレクリエーション活動には事欠かない美しい地方であり、近隣諸国から多くの観光客が訪れます。

また、他の地域に比べて若い人の割合が高く、35才以下が人口のおよそ半数を占めます。出生率が他地域に比べて高いのも特長です。





# 日独青少年相互交流計画の概要

日程	奇数年は8月後半の約2週間ドイツを訪問 偶数年は9月～10月の約2週間ドイツ側が来日 お互いに過去の参加者が中心となって受け入れを行っている
プログラム	ホームステイの他、学校訪問や伝統芸能の制作現場見学など、参加者の希望を叶える形で内容が組まれている
派遣団員 参加資格	高校生・大学生・その他希望のある20代若者 ヨーロッパの文化・人々に興味があり、積極的に交流をしたいという好奇心の持ち主
団の規模	毎回15名前後(派遣・受入共)
企画	<u>メディアコーポラティブ・シュタインフルト</u> 公益財団法人 ハーモニイセンター 宮城県大崎市鳴子国際交流協会



# 日本団 ドイツ派遣プログラム

## メインプログラム(過去の派遣から)

- ホームステイ
- 学校及び各種施設・活動の訪問・見学  
高校・幼稚園・地域のエコロジー活動
- スポーツ・自然体験交流(カヌーでの川下り、サイクリング等)
- 遠征 北海・ブレーメン・ベルリン・ケルン等
- 団員の希望プログラム(選択プログラム、自由行動、ホームステイで)  
乗馬療法現場・医療機関・高齢者施設・農業の見学  
サッカー観戦・乗馬体験・ライブハウス etc.
- 受入青年との英語・ドイツ語・日本語によるコミュニケーション

**団員の希望に沿ったプログラムをドイツ側で用意**





# ドイツ団 日本派遣プログラム

## メインプログラム(過去の派遣から)

### ○ホームステイ

大崎市鳴子でのホームステイ(約1週間)

### ○学校及び各種施設・活動の訪問・見学

小学校・江戸東京博物館・相撲部屋・酒造会社・ドイツ大使館 etc.

### ○スポーツ・自然体験交流(Gボール・サイクリング等)

### ○遠征 千葉県勝浦市(巻き寿司作り) etc.

### ○団員の希望プログラム(選択プログラム・ホームステイで)

教育機関・動物園・原宿・上野 etc.

### ○受入青年との英語・ドイツ語・日本語によるコミュニケーション

**日本の文化体験を中心に団員の希望に沿ったプログラムを実施**





# この交流を経て…

- ドイツで活躍する日本人

デュッセルドルフで写真家として活躍 → 交流時の通訳としても活躍！

ルフトハンザでCAとして活躍 etc.

- 日本で活躍するドイツ人

ボッシュの日本支社で活躍！

日本企業に就職し活躍！ etc.

- その他

交流への継続参加

ドイツや他国へ長期・短期留学(ここ2回の参加者から計4名)

**個人の「国際的視野」を広げ、「積極性」を養うことが目的です。**

**交流後も数多くの参加者がお互いの国を行き来し、友好を深めています！**

# 交流を次世代へつなぐために！

日独青少年相互交流計画は2021年に30周年を迎えました。

本計画をきっかけに、互いの国で働くことになったり、その後の交流を継続的に支えてくれたりする者も多く、確実に参加者の人生に大きな影響を与えています。この有意義な交流事業を続け、次世代につなげたいと考えています。

コロナ禍を経て、直接交流の再開に向けて動き出していますが、資金面で大きな課題を抱えています。

本計画では、参加する若者たちが「本当にしたいこと」を大切にし、特定のテーマを設けないため、公的な助成金の獲得は難しいのですが、若者たちの経済的負担は大きくしたくありません。

訪問先滞在中の経費(宿泊費・食費・移動費etc)を受入側が全て負担し、現状その多くは受入団体の持ち出しとなっています。(約117万円/2018年実績)また、近年の円安や社会情勢を反映した渡航費用の上昇により、費用負担は大きく、事業継続を難しくしています。

厚かましいお願いで大変恐縮ですが本交流に皆様からのサポートをお願いできればと思います。





# ご協賛について

10月14日(月祝)～26日(土)にドイツから若者が約15名(+引率2名)が来日予定。彼らの日本での滞在がより充実したものとなるよう、ご援助いただければと考えています。

本事業の主旨をご理解の上、ご協賛を賜りたくお願い申し上げる次第です。

協賛金額:1口1万円

募集期間:令和6年10月26日(土)まで

納入方法:銀行振り込み(ご連絡頂きました際にお知らせいたします)

使途:プログラム費や受け入れ費用として活用させていただきます

協賛いただいた場合、一口につき一種類の資料配布と当団体機関紙の報告欄に御社企業名を掲載させていただきます

※ハーモニィセンターへのご寄附は税制上の優遇措置を受けることができます。

問い合わせ先:公益財団法人ハーモニィセンター 担当:山本直輝

Mail:[naoki.yamamoto@harmonycenter.or.jp](mailto:naoki.yamamoto@harmonycenter.or.jp) Tel:03-3469-7691